

# 主な乱用薬物

## 違法薬物

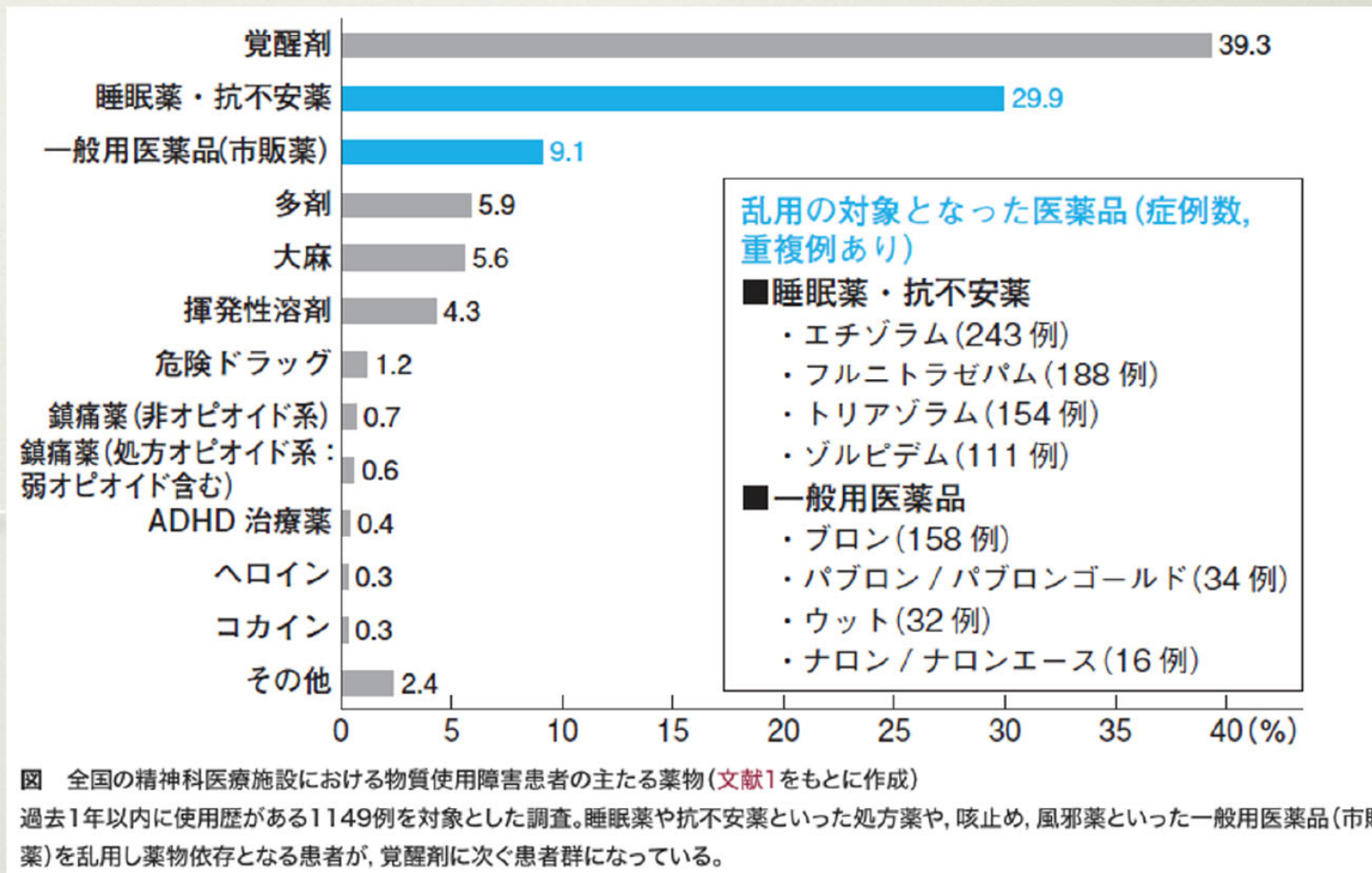
覚せい剤、大麻などが中心

## 身近な医薬品

薬物の乱用が増加傾向



# 過去1年以内に乱用の対象となった医薬品



## 乱用の恐れのある一般用医薬品に指定された成分

1. エフェドリン
2. コデイン(鎮咳去痰薬に限る)
3. ジヒドロコデイン(鎮咳去痰薬に限る)
4. ブロムワレリル尿素
5. プソイドエフェドリン
6. メチルエフェドリン(鎮咳去痰薬のうち、内用液剤に限る)

## 購入または譲り受けようとする対象者について

- 1.氏名・年齢の確認(若年者の場合)
- 2.他の店舗や業者から入手しているか？
- 3.適正数量(原則1包装単位)を超えて入手しようとしている場合の理由
- 4.その他適正使用が目的であること

# 医薬品の乱用・中毒・依存について

## 医薬品の乱用

法律から逸脱  
過量服用等

## 医薬品の中毒

医薬品の依存  
慢性的な脳の異常  
精神障害

## 一般用医薬品の依存症となった人の傾向

1. 若年の男性が多い
2. 高学歴・非犯罪傾向
3. 精神科的な問題を有する
4. 薬物依存が重症
5. 違法薬物の使用歴がある
6. 再使用率が高い

## 一般用医薬品の依存症への対応

### 薬物依存症外来の主治医から(国立精神・神経医療研究センター 松本先生)

- 患者の多くは、様々な理由から生きづらさを抱えた若者
- 心理的苦痛を周囲に相談することができず一人で抱え込んでいる
- 市販薬を目的外使用して、気分の向上、不安を紛らわせる

# まとめ

困ったときは、お近くの薬剤師にご相談を

令和3年度  
健康介護

## まちかど相談薬局

一般社団法人 青森県薬剤師会

- ★ 認知症早期発見(脳健康チェックリスト)
- ★ 介護予防(基本チェックリスト)
- ★ 心の悩み相談(ゲートキーパー)
- ★ 禁煙サポート
- ★ 血圧測定等健康相談